

**「緑の分権改革」被災地復興モデル実証調査(平成23年度第3次補正予算)
委託予定事業一覧**

県名	市町村名	事業内容	委託予定額 (千円)
岩手県	宮古市	水産物を使用した特産品を高校生や短大生等が中心となって開発。 市サポーターによる震災復興体験ツアーを実施し、開発した特産品を販売。	15,410
岩手県	久慈市	地中熱を活用したヒートポンプシステムによるいちごのハウス栽培を行い、観光農園として通年栽培を目指す。	25,470
岩手県	陸前高田市	震災により活用先が失われた間伐材を利用するため地元木材を使用した机、椅子、公共住宅の内装材等を試作し、震災時の支援元の自治体等を通じた販売を実施。	23,480
岩手県	釜石市	小水力発電により電動アシスト自転車タクシーを実施し、被災した高齢者の足を確保する等、復興に資する新たな公共交通を構築する。	26,170
宮城県	気仙沼市	住民が週末を利用して運び出した間伐材をチップ化し、市内宿泊施設等に供給。間伐材を収集した住民に対し、地域通貨を発行。その資金の一部に住民等から募ったファンドを活用。	26,810
宮城県	多賀城市	被災高齢者や障がい者を雇用し、ハーブ等を活用した特産品を製品化し、市内で販売。開発・製造は震災により業務を縮小した工場を活用。	24,500
宮城県	大崎市	大崎市、塩竈市、南三陸町が連携し、ふゆみずたんぼやかき・ホヤのオーナー制度を実施するとともに、ふゆみずたんぼから収穫した米の共同ブランド化を図る。併せて被災地の復旧やふゆみずたんぼの農作業のボランティアツアーを実施する。	15,820
宮城県	亘理町	津波によって壊滅的な被害を受けた防潮林を復元するため、町内外からボランティア及び賛同企業を募り植樹を実施。植樹する苗木は町内外から出資を募るオーナー制度を導入する。	14,170
宮城県	南三陸町	放置されている間伐材を活用し、ペレットを製造。ペレットはハウス栽培や公共施設等の熱源に活用。	30,790
福島県	いわき市	住民主体による再生可能エネルギー移動教室を行い、発電施設を住民が自ら設置し、災害時の自立電源に活用。併せて住民がガイドや語部(かたりべ)となって、住民が設置した発電設備や被災地域を巡るスタディツアーを実施する。	30,930
福島県	相馬市	沿岸漁業の休業により当面仕入れが困難な原材料や一次加工品を神奈川県小田原市の協力を得て入手し、これを加工して特産品として販売。併せて太陽光発電による電力等を、特産品を販売する直売所で活用。	11,160
福島県	天栄村	地中熱とブナ原生林からの湧き水を活用したヒートポンプによりレタスやいちご等のハウス栽培を行い、風評被害の払拭、販売促進を図る。	25,280
福島県	富岡町	とうもろこしや菜種の栽培により農地の除塩・除染効果の検証を実施。栽培したとうもろこし、菜種の活用方策(発電、堆肥化、エタノール化)の比較調査。	30,010
合計			13事業 300,000